

NEWS RELEASE

デジタルガレージグループの「統一型 QR コード決済『クラウドペイ』」、 au PAY、WeChat Pay に接続開始

株式会社デジタルガレージ（東証一部 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁、以下：DG）を中心とする DG グループは、国内唯一の「統一型 QR コード決済『クラウドペイ（<https://www2.cloud-pay.jp/>）』」と、KDDI 株式会社が提供する au PAY、海外決済サービスの WeChat Pay との接続を 2020 年 10 月末より開始します。「クラウドペイ」はこれまで、国内決済サービスの d 払い®、LINE Pay、海外決済サービスの Alipay、AlipayHK、Kakaopay への接続を完了しています。今後も国内外の決済サービスへの対応、接続を進め、クラウドペイのサービス拡充を推進していきます。



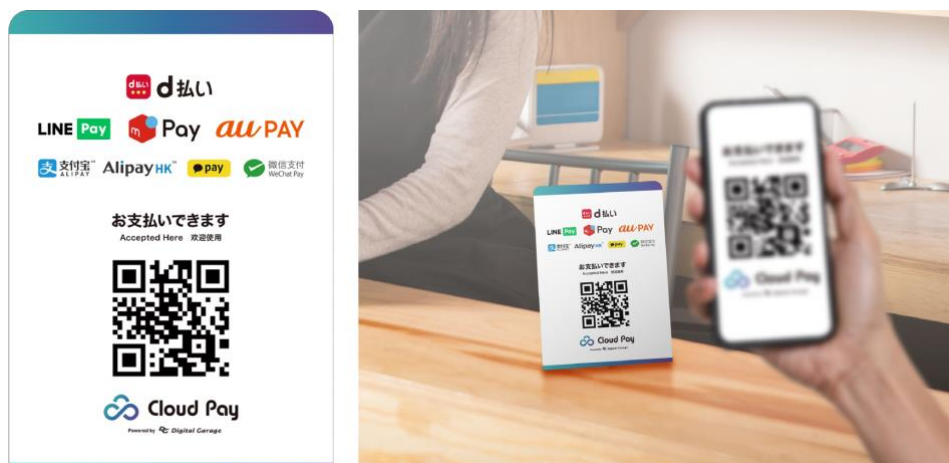
「クラウドペイ」は、1 つの QR コードを店頭を設置するだけで、複数の QR・バーコード決済サービスを導入することができるサービスです。店頭の QR コードを読み取り決済する MPM 方式*1 を採用しており、加盟店は POS 端末など新たな機器の導入や既存システムの改修等に伴う導入のコストを負担することなく、国内外の複数の QR コード決済サービスの一括導入が可能です。運用時も加盟店専用アプリで各種決済手段の取引業務を一括管理できるため、運用業務や経理業務の省人化につながるなどメリットが多く、さらに支払いの際にどの QR コードを読み込むのか消費者を迷わせることもありません。

今回、会員数が 2,300 万人*2 を超える、国内決済サービス au PAY と、海外決済サービスの WeChat Pay の利用に対応することで消費者の決済利便性を高め、加盟店の販売機会向上、消費の拡大にも貢献します。

DG グループでは「クラウドペイ」をはじめとして、POS システムからモバイル POS、マルチ決済端末等、さまざまな規模や業態の加盟店に応じた対面決済ソリューションの提供を通じて、政府が推し進めるキャッシュレス化を支援し、加盟店と消費者の双方にとってスピーディーで簡単、便利な決済体験を提供していきます。

また、DG グループは今後も決済・マーケティング・投資の 3 領域を主要ドメインとして事業展開するグループシナジーを活かし、リアル小売り向け OMO マーケティングなどフィンテックとデジタルマーケティングの統合戦略を推進します。

【店頭設置用 QR コードスタンド、決済シーンのイメージ】



NEWS RELEASE

■au PAY について

「au PAY」は、会員数が2,300万超で、お手持ちの「au PAY アプリ」から簡単な操作でご利用いただけるスマホ決済サービスです。アプリ上に表示されるバーコードやQRコードを店舗のPOSレジや各種端末で読み取る、または店舗が提示したQRコードをアプリで読み込むことで、お買い物・お支払いにご利用いただけます。

■WeChat Pay について

WeChat Pay は人民元から円への精算を提供することで、WeChat ユーザーは WeChat Pay を通じて通貨を交換することなく加盟店舗で買い物をすることができ、海外でよりスマートで便利なショッピングを体験できます。WeChat Pay は、日本の加盟店をより良くサポートし、中国の訪問者にサービスを提供し、オープンプラットフォームでの加盟店のパフォーマンスを向上させることを目指しています。

*1: MPM 方式：QRコード決済における決済方式の一種で、利用者のモバイル端末で店舗のQRコードを読み取る方式を指す

*2: 2020年10月27日時点

* Cloud Pay（クラウドペイ）は、BtoBtoC型で展開する国内唯一の統一型QRコード決済ソリューションです。Cloud Pay（クラウドペイ）は、株式会社デジタルガレージの登録商標です。

* QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。